

2023年7月の報告

原発いらん！ 山口ネットワーク

13708

13707

421号

代表者 小中 進
〒742-1513 山口県 熊毛郡 田布施町 麻部 2208
Tel. Fax 0820-55-6291
振込口座(年会費 2000円)
(郵) 01590-5-27469
口座名「原発いらん！山口ネットワ-2」
作製・印刷・発送
周防灘の自然を守る会
三浦 翠とメンバーズ



新版 森と魚と激戦地

はじめて明かされる太平洋の住民たちの受難と抵抗

紹介文はP⑩に。

清水朝子

次の集り

2023年8月13日(日) 13時30分
周南市役所シビック交流室6

※7月9日の例会は県内全域に大雨警報が発令されていたため、お休みしました。遅うぐごまじらった皆さんごめんください。

トリチウム汚染水海洋放出反対!!

日本政府はAEAを前面におし立て、マスコミを黙らせ、汚染水の海洋放出を正統化しようとしていきます。

AEA(国際原子力機関)は、原子力の平和利用から軍事利用への転用を防止する科学的技術的協力を進める「国際機関」として設置されました。

しかし、現実には原子力の平和利用の名のもとに、原発推進の利益を守る機関になり、環境や人々の健康よりも、原子力産業の利益を優先します。

トリチウムが体内にとり込まれた場合、β線を放射します。この線は体内の組織を内部にダメージさせます。これが遺伝子の中で起ったらトリチウムはβ線を出して核を破壊し、ヘリウムになります。ヘリウムは無機物なので、遺伝子は切断されてしまいます。これが科学者の言う「トリチウムは猛毒の音叉です」。

しかし、AEAはこのような内部β線の存在そのものを認めません。

海水に混ったトリチウム汚染水は蒸発して雨となつて山や農地に降りそそぐ。その野菜や穀物を私たちが食べることで体内に取り込まれます。

このようなものを環境中に出しては決まらせないのです。

この原発からも出しているからいいのだと言いますが、人類は核実験や再処理工場から何千里のトリチウムを排出して海を汚して来たからいって、折角取り除いた大量のトリチウムを再び海に流すようなことをしてはいけません。

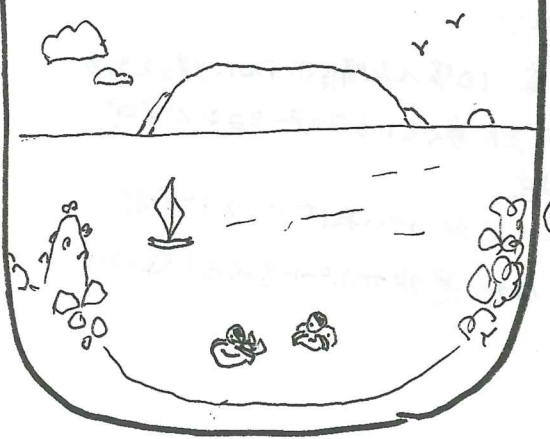
トリチウムの半減期は12年半です。100年向も野戚しておけば放射能は減衰します。現地の方は置換場所はいくらでもあると言っています。それに世界ではトリチウムを水と分離する研究もなされています。

福島県では多くの自治体が汚染水の放出に反対を決議しています。宮城県議会は全会一致で反対決議をしました。しかし、この事実が余り報道されません。

- 放射能汚染水放流中止韓日市民徒步行進の
本子元栄さんが7月16日下関に到着。
多くの人が共に歩き、大流を重ねながら
7月22日周南市に到着されました。
その時の日刊新聞の記事です。↓P②
●李元栄さんのソウル出発にあたってのメッセージ
●戸田駅→徳山駅を歩いた海田さんの感想文 ↓P③
●広島での記者会見要旨 ↓P③

田の浦ビクニック & ビーチクリーン

今回は9月下旬に。
日程は次号で。



「海洋放出反対」訴え1600キロ

原発処理水問題で日韓行進団が周南通過

7/24 日刊新南

上関原発反対者と交流集会



李団長（右から5人目）ら



李団長（左）と交流する防府市の子ども（李団長提供）



行進団が配布しているチラシ

この英天下をどうしてそんなに毎日歩けるの？と不思議でした。

たしかにソウルー広島ーバチカンまで8200kmを「生命、脱被曝ロード」の徒歩巡礼(8200km・26ヶ月)とされた李元栄(元水原大学教授)の体力はすごい!

朝7時出発ー10時到着、10時~4時はホテルに泊り、2時~7時迄は休憩。4時~7時まで歩くというローテーションです。しかし長く歩くことゝあります。

いつか共に歩く人、ホテルに送迎か「いれい」の2ヶ月... 東京の国会議事堂までみゆきさん是非マホトをよるしくねわいしませ。(M)

東日本大震災で被災した福島第一原発の処理水の海洋放出反対を訴えて韓国・ソウルから東京まで約1600キロを徒歩で行進している日韓市民徒歩行進団が22、23両日、周南市と下松市を通過した。JR徳山駅では上関原発建設計画に反対する支援者約10人との交流集会も開かれた。

東日本大震災で被災した福島第一原発の処理水の海洋放出反対を訴えて韓国・ソウルから東京まで約1600キロを徒歩で行進している日韓市民徒歩行進団が22、23両日、周南市と下松市を通過した。JR徳山駅では上関原発建設計画に反対する支援者約10人との交流集会も開かれた。

22日は午前7時に周南市のJR山陽本線戸田駅前を出発し、日本語と韓国語で「放射能汚染水の放流中止な」と書かれた横断幕を掲げたり、チラシを配りながら行進して、10時ごろ徳山駅前に着いた。李元栄は「日本は原発汚染水を無理やり海に捨てるのかわからない。いくら希釈しても放射能の絶対量は変わらない。海の状態は変わらず、海の生態系が破壊されるだけだ」「汚染水の海洋放出は中止すべきだ。韓国と日本の市民が共に歩けば、日本政府を目覚めさせ、放流をストップさせられると信じている」と力を込めて話していた。

さらに韓国よりも日本の方が街頭の反応がいい。一緒に写真を撮った子どもたちも「楽しそうに話していた。」

この日の行進には、周南地域代表世話人の小南進元(県議)▽世話人の中進元(県議)▽世話人の

仲山哲男(市議)も同行。23日は周南市熊毛地域を地元の渡辺君枝市議らが一緒に歩いた。行進団はこのあと、徳山駅を通過して、25日、広島市に入ると、25日(火)に広島市に到着し、原爆ドーム、平和記念公園、韓国人原爆犠牲者慰霊碑を訪れる。9月11日(月)に東京の国会議事堂前に着く。

李元栄さんのソウル出発の時の写真と、宣言文です。

일본정부는 인류에게 사죄하고 방류를 즉각 중단해야 합니다.



지난6월18일 서울 광화문에서 한일시민도보행진이 출발하는 모습

日本政府は人類に謝罪し、放流を直ちに中断しなければなりません。

The Japanese government should apologize to humanity and immediately stop the release.

放射能汚染水放流中止韓日市民徒歩行進を始めるにあたり

なぜ無理やり海に捨てるのか分かりません。いくら希釈しても放射能の絶対量はそのままです。海の生態系が破壊されます。放射能は半減期があるので、保管さえきちんとしておけば著しく減らすことができます。なぜ保管できないのですか？

日本政府は多くの生命を故意に破壊するのを止めねばなりません。

人類自滅のテロは中止しなければなりません。今こそ地球村主人が立ち上がらなければなりません。韓国と日本の市民たちが歩いてこれに目覚めさせ放流を止めようと思います。共に歩けば成し遂げられます。

2023年6月18日 韓国の市民たちがソウルを出発しつつ

<https://cafe.daum.net/earthlifesilkroad/kUxW/69>

上のアドレスをクリックすると李さんの作成したページを全部観ることができます。

google

choml の場合、右クリックすると日本語翻訳が出ます。

(ただし正確ではありません。) 拡散しましょう。

李元栄さんの広島市での記者会見の言葉です。(鉄野さんの訳です)

今朝、ビッグニュースが李元栄氏から届きました。
今日午後2時、広島市で記者会見を呼びかけました。そこでの李元栄さんのお話の要旨です。
今日(07/26)午後2時に行う広島記者会見要旨
<広島が止めさせることができる>
汚染水問題はプランクトンや食物連鎖など海洋生態系を破壊するというのが本質だ
すべての生命の母を破壊すること。
保管が難しい理由は何か？
保管費用がたくさんかかるのか？
海に捨てなければならない理由は何か？
理解できない。
ロンドン条約以前に地球憲章で放射能を増やしてはならないと規定している。
多くの国際法も違反だ。
日本は約束を破棄する国なのか？
核被害国から核加害国への転換を止めなければならない。
本来、このような重大な問題は国民が直接決めなければならない。
スイス、オーストリア、イタリア、スウェーデンのような国々のように。
政治家だけに任せることではない。
歩いている間、青少年と女性たちは行進に積極的な友好ジェスチャーを見せた。
大半が放流中止を望んでいる
彼らは知っている。本能的に道ではないということ。
宮城県の事例がある。
止める地域が増えればいい。
広島住民が止めれば威力が大きい。
核被害者の日本が
核加害者になってはいけないう。
広島からの言葉が説得力がある。
地球村にも響きがあるだろう。
広島に住むよ、一緒に東京まで行進しよう。

戸田駅→徳山駅といっしょに歩いた海田春水さんの感想文です。

時折吹く、からりとした風が、徒歩行進を後押ししてくれました。
7/22 (土) 朝7時、戸田駅前。参加者全員で円になり「行進宣言文」を輪読。宣言文末尾の“韓国と日本の市民たちが歩いてこれ(放流の有害さを政府)に目覚めさせ放流を止めよう”と思います。共に歩けば成し遂げられます。”を声に出し、背筋が伸びる思いでした。起床時の「暑いし、歩くのは福川までかなあ・・・」という弱気は彼方へ。

徳山駅到着は10時半、6人のチームワーク(小中さんの車伴走がどんなに心強かったとか!)で遂げた11kmの徒歩行進は、幸いにも曇りがちで、風もあり、想像よりずっと順調でした。初めて出会った長年の運動の先輩伴歩者とおしゃべりが楽しく、何より、李先生の一大行事のお供ができるという喜びで、あっという間の3時間半でした。道中、車中から手を振ってエールを送ってくれる笑顔に力をもらって歩を進めました。

到着の徳山駅では、11時半から記者会見と報道各社に告知してあったようですが、駆け付けたのは新周南新聞社のみ。「処理水」を「汚染水」と表記すると、大手マスコミは動かないのよと聞き、表現の自由を自ら放棄する報道が、市民の知る権利をはく奪する現場に居合わせた思いでした。結局、県内で取材に訪れたのは、宇部日報と新周南新聞社の地元紙2紙のみ。どちらも好意的に大きく取り上げていました。(広島入りした7/26には、広島県政記者クラブで記者会見が行われ、訪れたのは中国新聞社一社のみ。7/27現在、中国新聞に徒歩行進の記事はありません。今後に期待しています。)

お昼の休憩では、鉄野さんの通訳で、李先生から、韓国の大統領周辺で起きているスキャンダルについてのお話も。「これから、映画より面白い展開になる」と。韓国では5年に一度の大統領選挙のたびに政権交代がおきるので、司法と政治が癒着しておらず、政治家が当たり前前に裁かれ、国民も政治に注目しているとのこと。日本を「先進国」と言う恥ずかしさを感じずにはられませんでした。

李元栄先生たった一人の行動が、多くの人を動かし、各地で共鳴を起こしています。ソウルから東京の国会議事堂まで歩くなど途方もないことですが、賛同する市民が、その土地土地でサポートし、ともに歩き、次の地区へバトンタッチする。そんなことが実現してしまうことに改めて李先生のとてつもない行動力と人間力に脱帽です。今この時も、ここから地続きの日本のどこかで、徒歩行進は続いていて、各地で新たな出会いが生まれ、点が線になって私たちの思いも絡み合い、面となって東京に向かっていく・・・。

この度、ほんの少しですが李先生の徒歩行進に参加して、前へ前へズンズンと行動することの意義の大きさ、運動を広げる方法としてのヒントをもらいました。

汚染水の放流を止めてほしい。子や孫たちの海を汚さないでほしい。この思いが届きますように。

7/6 田の浦初体験の貞弘明子さんの感想文です。

軽い気持ちで・・・

海はキラキラと日の光を透かし、穏やかに寄せては返していました。対岸の祝島も、美しく堂々として見えました。広島県の山奥に住む私は、塩の匂いを嗅ぐだけでワクワクするのですが・・・。

きれいだと聞き、原発の予定地になって長い上関の海を見たいと思っていました。実家の母を応援する為山口県で過ごす時間が増え、チャンスが来ました。

‘ピクニック・海岸掃除’は日常から近いので、私にはとても参加しやすかったのです。新聞でも見、友人からも聞いていたので、久しぶりに友人に会いたい、「海！海！」、ささやかでも私も反対の意思表示に参加できるのかな？・・・と軽い気持ちで行きました。

梅雨の晴天、農業の方などには貴重な日で、参加者は少なめでした。私は熟女グループの車に乗せて頂いてお喋り、お喋り。若い原真紀さんはモリモリ皆をリードして働かれています。広島や宇部の遠方からも来ておられ、驚きました。ヤギのモモちゃんは、自由なのにずっと安藤さんと一緒に移動しながら草を食べて、皆を和ませていました。私はお弁当をせがまれなかったのが、本当に可愛かった！！皆さんのお弁当をたべながらのお喋りも、また楽しかったです。

ゴミは広島のカキ養殖筏のプラスチック部品多く、これもびっくりしました。その浮きの発泡スチロールはいろいろな大きさにちぎれていて、自分の買い物の包装についても考えました。

海岸へは、車から降りてから急な山道を下って行き、帰りは集めたゴミを持って、またその道を登りました。この道を繰り返し通って長年色々な局面のあった建設の反対運動をしてこられたのか・・・と想像し、感謝しました。

美しい海の残る過疎地に、出すゴミも事故も誰の手にも負えず、将来の生き物すべてに害を及ぼす原発は要りません。

他にも心が痛くなるようなことは、社会にたくさんあります。私たちは悠久の時の中、日々自然からなるべく離れないで、質素に誠実に暮らし、アンテナも持って、判断したいと思います。

帰ってからは心地よい疲れで夜はよく眠れました。また参加したいです。

わたしと同じノリで多くの方があのきれいな入り江のうみを見、波に触れて遊べるといいなあと思います。そして、必要のない建物やロープが無くなって、ずっとそうできることを願います。

貞弘 明子

■ 小中進さんの朝の辻立ち15周年
7月1日・連日の大雨となり
は中止とのFAXがまわったため、近くの人だけの
参加となりまわった。好天だったら多くのみんな
が駆けつけたのですが・・・
小中さんいつもいつもありがとう。

記念行事



2023.07.01(土) 辻立ち15周年目は、雨の中となりました。
辻立ち15周年記念行事は、大雨注意報のため中止しました。
当日は、それでも6名の皆さんが応援に駆け付けて頂きました。

■ 7月6日 田の浦ピクニック & ビーチクリーンのこと。

昨日も暑い中、ありがとうございました。

写真を何枚か送りますね。

可燃ゴミ 35リットル※7袋

可燃ゴミ 20リットル※1袋

不燃ゴミ(ビン、缶)35リットル※1袋

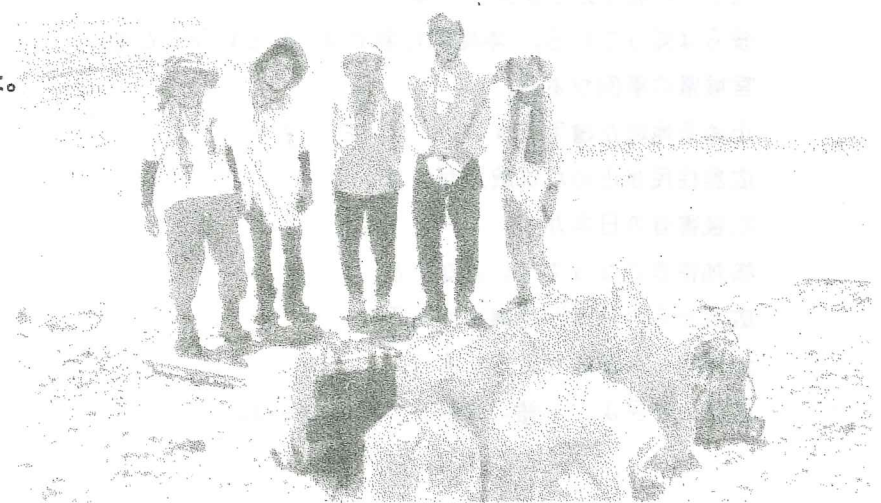
参加

広島、宇部、周南、下松、平生町

7名+ヤギ一頭

次回は、まだ決めていません。

原 真紀



安藤さんとヤギのモモは急用で早退。真紀さんはカメラ。

6月28日の中電株主総会のこと。

（小中さんのブログより）
中電本社前には、中国各地から原発ゼロを訴えるために集まりました。

中国電力が計画して今年で41年目となる上関原発計画地元の祝島漁民の会の皆さんや島根原発2号機再稼働阻止で島根県からも参加されました。

総会では、電力販売で関西電力とカルテルを結んでいた件で課徴金707億円問題、関連企業による顧客情報の不正閲覧など相次ぐ不適切問題の引責辞任となり滝本夏彦社長の後任に中川賢剛常務が選任された。

しかし、カルテルを結んだのは誰か事件の真相は明らかではありません。

不透明なまま総括も出来ない反省も無し電力会社の体質は全く変わっていません。

原子力事業からの撤退を求めたのに対しては、重要な経営課題としカーボンニュートラル実現に向け原発の必要性を訴え推進する考えを示しました。

ポーリング調査で中電が「祝島漁民の会」を訴えた民事訴訟の件で、中電は「取り下げる予定はない」と答弁し祝島漁民の権利を無視しました。

関係漁民である祝島漁民の同意とそれに対する補償がなされない限り、中電の行うポーリング調査も埋立工事も祝島漁民の「自由漁業の権利」を侵害する違法行為となります。

株主総会で社長の引責辞任が行われたが、中国電力の体制下で信頼回復ができるか疑問です。

会計報告

2023年7月の会計報告—原発いらん!山口ネットワーク

23年5月の報告の残高	284,721
収入 年会費	10,000
支出	
5月の報告作製送料	25,936
6月 " " "	27,374
6月例会会場費	1,140
振込通知料	330
ピンキーンコミ袋	1000
	55,780
差引残高	238,941

○会費の振込とありかとうございました。
○年会費は2000円です。可能な方はカンパもよろしく。
振込口座(郵)01590-5-27469
口座名「原発いらん!山口ネットワーク」

裁判のこと

祝島漁民の会の裁判へ4回

(岩国支部)

2023年9月21日(木)10時30分

伊方原発運転差止め裁判(2回)

(岩国支部)

2023年9月14日(木)14時



再エネの出力制御

7倍

この上原発を動かしてどうする。再エネをつぶす気か?

中国地方の出力制御の実施状況

日数	2022年		23年	
	1日の最大制御量(万kw)	日数	1日の最大制御量(万kw)	日数
3月	0	0	8	20~193
4月	2	47~49	18	42~347
5月	0	18~55	15	55~254
6月	0	0	5	50~221

中国電力は、再エネの出力制御を強化し、原発の稼働を維持しようとしている。これは、再エネの普及を阻害し、電力市場の競争力を低下させる恐れがある。また、再エネの出力制御は、電力の安定供給を脅かす可能性がある。再エネの出力制御を止め、電力市場の競争力を高め、電力の安定供給を確保する必要がある。

イベント情報

いつ	なに	どこ	通う光
8月5日(土) 14:00~16:30	止のよう戦争, 止のよう原発帰帰 木原省治, 高橋 悠太 末田 一秀(はたけのりしゅう編集長) 韓口から汚染水反対アピール	広島 RCC文化センター 7F	原発はこめんだ 広島市民の会 090-6837-8236
8月6日(日) ① 10:30~12:25 ② 14:00~15:55	「妖怪の孫」上映 「沖繩,再び戦場(いくまは)へ」 45分, 上映	周南市学が交流 70ラザ多目的ホール 発売1200円当日1500円	090-3746-0909 海田
8月7日(月) 10:25~	上関原発用地埋立禁止才22次 住民訴訟	山口地裁	0836-21-8003
8月13日(日)	原発いらん!山口ネットワーク 例会	周南市役所北37 交流室6	0820-55-6291 小中
8月26日(土) 14:00~16:00	講演会「見えない恐怖もう1つの基地 被害-米軍基地 かもたらす環境汚染」 梶井 国俊さん(沖縄大名誉教授)	広島弁護士会館 3F 大会議室 OL 甲しほみ(9/21) 800円	
9/9(土)~(17日) 9:30~18:00 9日 12:00~17日 16:00	原爆展	まほろん2 山口市道場門前 2-3-6	083-928-5840 被曝二世の会

新「生物多様性国家戦略2023-2030」策定で高まる 「生物多様性の観点から重要度の高い海域」の価値

— 山口県知事の上関原発埋立て認可の不当性が浮き彫りに —

環瀬戸内海会議共同代表 湯浅一郎

◆ 新「生物多様性国家戦略2023-2030」が閣議決定された

2023年3月31日、日本政府は、「生物多様性国家戦略2023-2030-ネーチャーポジティブ実現に向けたロードマップ」(以下、「新戦略」)を閣議決定した(注1)。この文書の重要なことは「今までどおりから脱却し」、「社会、経済、政治、技術など横断的な社会変革」を目指すという基本理念を掲げていることである。その具体化のために2030年までに「陸と海の30%以上を保護区にする(30by30)」など25の行動目標が盛り込まれた。

「新戦略」の背景は、モンリオール(カナダ)で2022年12月19日開かれた生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)が、2050年までの長期ビジョン「自然と共生する世界」を掲げ、そのための行動計画として採択した2030年までに生物多様性を反転させるための「昆明(クンミン)・モンリオール世界生物多様性枠組」(=ポスト愛知目標)である(注2)。枠組みは4つのゴールと「陸と海の少なくとも30%を保護区にする(30by30)」など23のターゲットで構成される。

同戦略(案)は1月30日に環境省のHPに掲載され、2月28日までパブコメが行われ、環瀬戸内海意見書を提出した(本号12~14頁に抄録)。3月13日に開かれた次期生物多様性国家戦略第7回小委員会でもパブコメで出た意見への対応などが報告議論された(注3)。その結果、環瀬戸内海が提出した意見は、多くは無視されたものの、いくつか採用されたことがわかった。

◆ 「陸域・海域の30%以上を保護地域」なら上関町田ノ浦の埋立て認可は撤回されるべき

新戦略の「第1章 生態系の健全性の回復」では6項目の行動目標があるが、初めの3つが重要である。その第1が、行動目標1-1「陸域及び海域の30%以上を保護地域及びOECMにより保全するとともに、それら地域の管理の有効性を強化する」である。「30%以上」となっている箇所は、環境省の原案では「30%」であったが、環瀬戸内海会議(12頁の意見3)や辺野古土砂全協の意見が取り入れられた結果である。基になった昆明モンリオール枠組みのターゲット3が「少なくとも(at least) 30%」になっているので当然だが、それなりに大きな意味がある。

これを実現する最も具体的な方法は、環境省が2016年に抽出している既存の『生物多様性の観点から重要度の高い海域』の沿岸域270海域をできる限り活用することである。「今まで通りから脱却」するのなら「すべて保護区にする」方針を打ち出してもおかしくない。

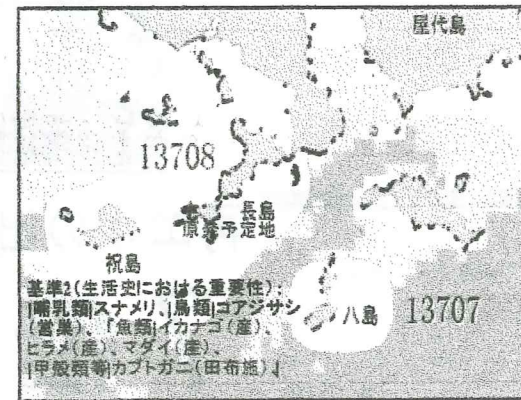


図1. 「生物多様性の観点から重要度の高い海域」の一つ「長島・祝島周辺(海域番号13708)」(灰白色部)

新たな国際合意とそれに基づく新たな国家戦略のもとで、『生物多様性の観点から重要度の高い海

域』の重要性が飛躍的に高まったのである。

例えば、上関原発予定地・田ノ浦海岸を含む重要海域の一つを見てみよう。重要度の高い海域で「長島・祝島周辺」と名付けられた「海域番号13708」(図1)である。環境省HP(注4)によれば、この海域の特徴は、「長島、祝島、宇和島周辺の海岸は、護岸のない自然海岸が多く、瀬戸内海のかつての生物多様性を色濃く残す場所である。祝島と長島を隔てる水道はタイの漁場として有名であり、スナメリやカンムリウミスズメが目撃されている。岩礁海岸ではガラモ場が非常によく発達しており、生産性も高い。宇和島ではオオミズナギドリの繁殖地が見つかっている。」とされている。そして、抽出の基準ごとに以下の特徴があげられている。

基準2(生活史における重要性) [哺乳類]スナメリ、[鳥類]コアジサシ(営巣)、[魚類]イカナゴ(産卵場)、ヒラメ(産卵場)、マダイ(産卵場)、[甲殻類等]カブトガニ、[頭足類]マダコ。

基準3(絶滅危惧種) [鳥類]コアジサシ、[維管束植物]ヒロハマツナ。

基準7(自然性) [甲殻類等]カブトガニ、[維管束植物]ウラギク、ヒロハマツナ、フクド。

コアジサシの営巣地、イカナゴ、ヒラメ、マダイの産卵場、マダコの生息地、カブトガニの生息地等の記述も。

更に情報票には抜けているが、過去には埋立て予定の田ノ浦海岸には、ヤシマイシシ、ナガシマソボなど還元性土壌に生息する微小巻貝が多種類生息しているという文献もある。いずれにせよ環境省自らが認めているように、「瀬戸内海のかつての生物多様性を色濃く残す場所である」。270海域の中でも、瀬戸内海の原因風景を残し、生物多様性の豊かさという点ではトップクラスの海域である。このような海は、生物多様性基本法に基づいて作成された生物多様性国家戦略に照らして、そのまま保護するのが妥当な選択であろう。従って、「田ノ浦海岸に関する山口県知事の埋立て承認には、生物多様性基本法に照らして法的な瑕疵がある」

と言わざるを得ない。

瀬戸内海に57カ所ある重要海域は、多かれ少なかれ、同様の位置を占めているはずである。「これまでどおりから脱却し」、「社会変革をめざす」理念に基づき、「海の30%以上を保護区にする」としている新戦略が閣議決定された状況において、「生物多様性の観点から重要度の高い海域」の重要性は飛躍的に高まっている。

◆ コンクリート護岸海岸で磯浜復元を拡げよう

新戦略のもう一つの重要な側面が、行動目標1-2「土地利用及び海域利用による生物多様性への負荷を軽減することで生態系の劣化を防ぐとともに、既に劣化した生態系の30%以上の再生を進め、生態系ネットワーク形成に資する施策を実施する」である。これは昆明・モンリオール生物多様性枠組の「劣化した生態系の30%以上を再生させる」とのターゲット2に対応したものである。この「30%以上」にも我々の意見が反映されている。この項目は、大阪湾岸、播磨灘北岸、水島灘北岸など、瀬戸内海に林立するほとんどの臨海コンビナートはもとより、コンクリート護岸で覆われた海岸線に当てはまる重要な課題に関わる。かつての干潟や藻場がつぶされコンクリート護岸に囲まれてから久しい海岸線においても、護岸に穴を明け、潮の満ち引きで海水が出入りできるようにする「磯浜復元」に取り組むことが可能である。

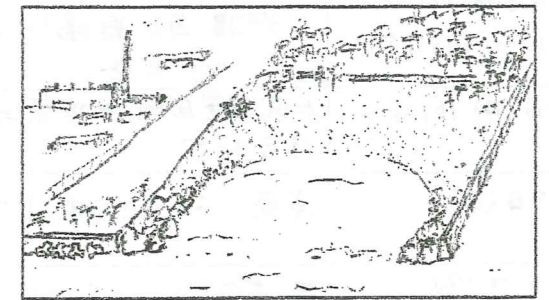


図2 「磯浜復元モデル」イメージ図

「瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律案に対する附帯決議」(2021年年4月8日、参議院環境委員会)二に以下の記述がある。

「環瀬戸内海会議」発行の「瀬戸内トウストニュース」80号(2023年6月号)の記事より。

→ 次頁に
つづく

「二、藻場・干潟等が、水質の浄化に加え、生物多様性の維持、炭素の貯留といった環境の保全上の重要かつ多様な機能を有していることに鑑み、関係省庁との連携の上、藻場・干潟等の保全、再生及び創出に係る施策の充実・強化に十分な予算の確保に努めること。また、未利用埋立地等を利用し、自然の力をいかした磯浜の復元に努めること。」

ちなみにこの付帯決議は、環瀬戸内海会議が、立憲民主党の徳永エリ参議院議員に提起したものが生かされた結果である(注5)。潮汐が大きい瀬戸内海では、干潟を利用しての海水の出入りが大きいので、まずは遊休埋め立て地を利用した磯浜復元を小規模にでも実際に始めることを提起することが重要であろう。

◆ **新戦略は生物多様性基本法第12条第2項に沿ってすべての事業に適用される**

また環瀬戸や土砂全協の意見書では、「本戦略には法的拘束力がないため、国の事業についてさえ、ほとんど歯止めがない。そこで戦略は、事業官庁(国土交通省、経済産業省、防衛省など)を含め国のすべての事業に適用されることを確認する内容が盛り込まれる必要がある」と指摘した。これに対する環境省の答えは、「生物多様性基本法第12条第2項において、『環境基本計画及び生物多様性国家戦略以外の国の計画は、生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関しては、生物多様性国家戦略を基本とするものとする』と定めており、他省庁の施策についても本戦略の主旨に沿うものとなるよう、今後も関係省庁間で連携を進めてまいります」というものであった。ということは、基本法ということで法的拘束力はないにしろ、曲がりなりにも法律に基づいて策定され、閣議決定された新戦略に照らして、すべての事業を検証することの正当性は担保されている。

いずれにせよ新たな国際目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組み」に沿って日本の生物多様性国家戦略が閣議決定されたことには大きな意義がある。政府の事業のすべてが、その戦略に照らして妥当性が吟味されねばならない。全

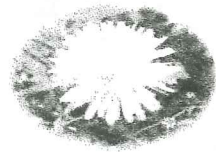
国の市民から「おかしいのではないか」という声

が普通に出てくる条件が整った。「陸域及び海域の30%以上を保護地域」にするのであれば、「生物多様性の観点から重要度の高い海域」は保護区にすべきだとの訴えを強めていかねばならない。

今年、環瀬戸は、瀬戸内法50年プロジェクトを進めているわけであるが、その年に生物多様性国家戦略が策定されたというタイミングを活かす視点を提起したい。プロジェクトの「未来への提言」の一つとして、瀬戸内海に57か所ある「生物多様性の観点から重要度の高い海域」につき1つ1つの状況を吟味・検証し、「海洋保護区にすべき海域」、「劣化した生態系の再生の対象とする海域」などを選出し、行政や住民に提案していくことが有効ではないかと考えられる。

注:

1. 環境省 HP
<https://www.env.go.jp/content/000124381.pdf>
2. 「昆明・モントリオール世界生物多様性枠組み」環境省仮訳
https://www.env.go.jp/council/content/12nature03_000105704.pdf
3. 「次期生物多様性国家戦略(案)に関する意見募集(パブリックコメント)の結果」
https://www.env.go.jp/council/content/12nature03_000126095.pdf
4. 環境省 HP「生物多様性の観点から重要度の高い海域」
<https://www.env.go.jp/nature/biodic/kaiyo-hozen/kaiiki/index.html>
5. トラストニュース 75号(環瀬戸内海会議 2021年5月)
<http://www.setonaikai-japan.net/09osirase/news/news75.pdf>



IAEAの報告書

これは、IAEAが出した「安全性レビューに関する包括的報告書—福島第一原子力発電所のALPS処理水」の冒頭の文である

IAEA, 2023

本書は、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の取扱いに関するIAEA安全審査報告書である。ここに記載された見解は、必ずしもIAEA加盟国の見解を反映するものではない。本報告書に含まれる情報の正確性を維持するために細心の注意を払っているが、IAEAおよびその加盟国は、本報告書の使用から生じる結果についていかなる責任も負わない。特定の国や地域の名称の使用は、そのような国や地域の法的地位、当局や機関、境界の画定についてIAEAが判断することを意味するものではない。特定の企業名や製品名(登録済みであるか否かを問わず)の記載は、所有権を侵害する意図を意味するものではなく、IAEAの支持や推奨と解釈されるべきものでもない。IAEAは、本レポートで言及されている外部または第三者のインターネットウェブサイトのURLの正確性または継続的な存在について一切の責任を負わず、そのようなウェブサイト上のいかなるコンテンツも正確または適切であること、または将来にわたって正確または適切であり続けることを保証しない。

その外に「日本政府がたどった正当化プロセスの詳細に関する評価は含まれていない。」
「正当化する責任は日本政府にある」との文章がある。
つまり、海洋放出が正しいとは言っていない、その責任は日本政府にあると言っているのだ。

物中口
処理水「検証情報発信を」
東京電力福島第一原発の処理水海洋放出に際し、西村康稔経済産業相は20日、国際原子力機関(IAEA)のグロツシ事務局長とオンラインで会談し、IAEAが進める安全性の検証について「国際社会に向けて透明性の高い情報発信をお願いしたい」と要請した。
IAEAは日本政府の依頼を受けて検証しており、西村氏は「厳正に進めていただき感謝している。IAEAの評価は国内外の理解を得る上で非常に重要だ」と強調。グロツシ氏は「どのようにコントロールされた形で放出されるのか、意見を交わしたい」と述べ、近く日本を訪れ対面で会談することにも意欲を示した。IAEAは、放出前に包括的な報告書をまとめる見通し。

韓国の野党が「日本政府がIAEAを買収した」と言ったことに対し、外務省は強く反撃しているが、名目は5が、正確に、日本は2億7千万円をふく、2(IAEA)はいる。

関連する新聞記事

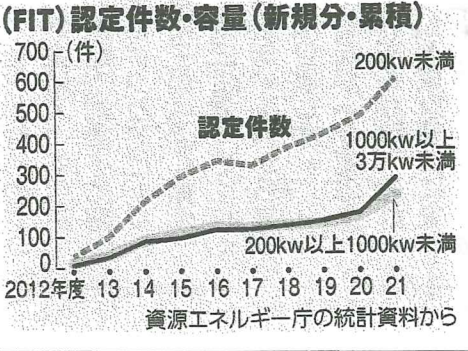
- (6/13朝日)送配電の分離困難か。政府の規制改革計画、短所も検討へ。
- (6/13朝日)使用済核燃料200トンを仙へ。福井高浜原発、南電社長が知事に伝達。
- (6/15朝日)パラオ、処理水放出に理解。
- (6/18朝日)処理水放出、秋に強める中口。
- 安全に配電太平洋の島国と。

●(6/20朝日)原発60年超、原子炉等規制法成立。課題は山積。

各原発の運転期間(6月19日現在) ※数字は号機

A 泊 1 33年11月 2 32年2月 3 13年5月	B 東通 1 17年6月 2 27年10月 3 21年4月	C 柏崎刈羽 1 37年9月 2 32年8月 3 29年10月 4 28年10月 5 33年2月 6 26年7月 7 25年11月	D 女川 1 27年10月 2 21年4月	E 東海第二 1 44年6月	F 浜岡 1 35年9月 2 29年9月 3 18年5月	G 志賀 1 29年10月 2 17年3月	H 敦賀 1 36年4月	I 美浜 1 46年6月	J 大飯 1 31年6月 2 30年4月	K 高浜 1 48年7月 2 47年7月 3 38年5月 4 38年0月	L 島根 1 34年4月	M 伊方 1 28年6月	N 玄海 1 29年3月 2 25年10月	O 川内 1 38年11月 2 37年6月
--	---	---	------------------------------------	--------------------------	--	------------------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------------------	---	------------------------	------------------------	------------------------------------	------------------------------------

- (6/20朝日)電力カルテルと社に電取を改善命令動向
- (6/22中口)「オロニオン」原発の寿命延長、専門家の懸念も
- (6/22中口)高浜1号機来月再稼働、2号は9月、口内最古の原発運転へ。
- (6/23朝日)処理水放出「反対」全漁連決議。
- (6/23日経)柏崎刈羽「口対策東電」来月に「規制全」
- 「適格性」再確認へ。地元自治体、東電に不信感。
- (6/23日経)福島島の処理水、灯台を批判。韓口野党、尹政権揺るがし。
- (6/24中口)韓口野党、福島原発を視察。
- (6/24朝日)小水力発電、再生可能エネルギーで、地域に活力。50年以上の場合には10年使える。
- (6/25朝日)株主提案最多の9社、環境も多様性への対応を、株主の立場から求めることが増えた。
- (6/25中口)処理水設備検査、29日開始の方針。規制全。
- (6/26中口)原発遊離者、支援手簿。福島方、巡る国連報告、人権確保へ。
- 事故遊離した全この人を寄しく支援すべし。
- (6/26中口)福島方、視察ツアー一般向け開始へ。
- 東電、処理水放出への理解を求む。
- (6/27中口)処理水トンネル完成、福島方、一般向け開始へ。
- (6/27朝日)新幹線に再生電力、J-POWER、脱炭素への取組む
- (6/27日経)核燃料再処理工場260億円増、青森、六ヶ所村、新事業案、非円内。
- (6/28日経)曲がる太陽光電池、京大発新興、トヨタ開発、E-V屋根に搭載目指す。



- (6/29朝日)大手電力、追及の株主総会。動向の原発に維持費、撤退迫る株主。
- (6/29朝日)開電付け続々、刃の核燃料処理、約束の貯蔵地示す。一部(5%)をフランスへ搬出。福井県内には200トンの使用済核燃料がある。
- (6/29九州スポ)福島方「原発処理水めぐり、韓国での反発強まる。正義党」李代表がハンスト。
- (6/29中口)不正防止へ送配電「所有権分離」株主提案。全社が否決。電力9社株主総会。
- (6/30日経)8月電気料金、8社下り。燃料下落受り、月比では高水準。
- (7/1日経)EU、日本産食品の輸入規制を廃止を。
- (7/1中口)土地規制向け折衝加へ、川内原発など。
- (7/3日経)日本のGX「肩板倒れ」アジアにも後水。風力は中口の16分の1。
- (7/3中口)処理水海水浴時季節回避と、海洋放出巡り公明代表。政府対外発信に腐心。
- (7/3日経)E-V充電所整備、足踏水。
- (7/4日経)再生可能エネルギー需給バランス「限界付近」
- (7/5中口)海洋放出「基準に合致」
- (7/5中口)処理水「報告口首相」首相に提出。
- (7/5朝日)懸念強める南太平洋諸国、処理水放出、核実験場関心高く。
- (7/5日経)森林伐採伴う再生可能エネルギーに課税、宮城、全国初の事例成立。環境保全、遊休地に誘導す。
- (7/5中口)漁業者理解見えない道筋。放出開始へ残る難題。
- (7/5日経)処理水濃度、基準の10倍に。政府、放出へ環境整備。
- (7/5中口)遊離者帰還者、手厚い支援、国際法に反する。福島調査団連年、家来批判。
- (7/6朝日)原発の過期延長へ規則改正。規制全了承、委員入(石渡明彦)は反対。
- (7/6朝日)処理水韓口に説明へ、岸田首相、韓口、報告を導く。
- (7/6中口)放出終了まで現地確認、原発処理水巡り、IAEA、福島で説明。
- (7/7スポ)処理水放出計画、報告書支持。
- (7/7日経)E-Vの「普及」促進、太陽光の活用進む。
- (7/8日経)原発処理水放出設備整備、規制全が終了証。
- (7/8中口)日本の食品規制拡大、中口処理水めぐり、中口。
- (7/8中口)北海道の地産調査、規制が厳格化、倍のペース。
- (7/8日経)南電最高益へ、原発全7基が9月稼働。
- (7/8朝日)韓口、処理水放出に「理解」。不安めぐる市野党は批判。
- (7/11日経)ミラージュ「下外種」処理水、報告を信頼。

宮城県が導入を目指す新税の概要
1キロワット当たりの税率

太陽光	620円以上
風力	2470円以上
バイオマス	1050円

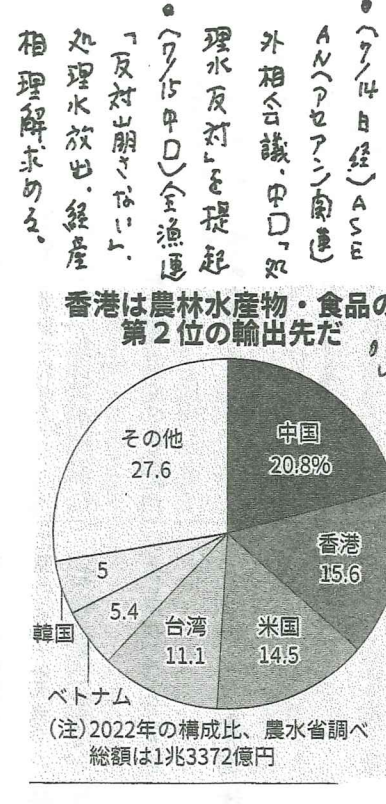
(注)太陽光と風力は固定価格買い取り制度(FIT)の価格に応じて増加する。水力・地熱発電は対象外

(新聞記事の続きです)

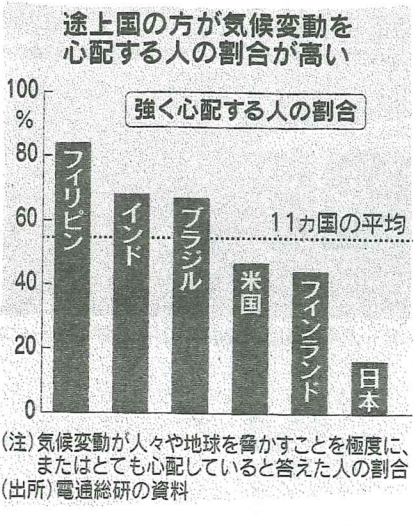
- (7/9日経)電気太陽光活用へ急ぎ。経産省が法改正へ
- (7/11日経)「ワシントン原産地」非常危険。ウツプナ駐日大使。
- (7/11中口)海の環境破壊、多様性、地球の未来を左右
- (7/12日経)処理水、風評対策は200億円、政府漁業者に方針説明。漁連は放出反対、中口輸入規制強化も

- (7/11中口)福島第一処理水78%が放出禁止命令、韓国世論不穏
- (7/13日経)川内2号機18日発電再開
- (7/13日経)高徳炉、司令塔に三菱重工。経産省、選定次世代原発開発中

- (7/13日経)香港、日本水産物不輸出へ。処理水放出の場合、福島は10割禁



- (7/15中口)中電など社に改善命令。電力カルテル、自由化に早急な対応、経産省
- (7/16中口)汚泥の保管場所逼迫。福島第一、汚泥水浄化過程で発生。汚泥96%に、処理水放出。中電、高いハードル、地球の新興国。
- (7/16日経)気候変動に若者不安。フィリピンで中電の新工場



- (7/16中口)オロニオン。瀬戸内法制定50年。埋め立て工事、豊田の海を、京都府等大山田園、産名産を破壊
- (7/18朝日)北電「治原産地」の取消しを
- (7/18中口)日本、ウツプと新エネ協力
- (7/18朝日)福島第一、ロバナム公園、燃料デブリ、試験取出し向け
- (7/19中口)中国、日本の海産物検査。日本の食品輸出打撃必至。和食熱に冷水。方針中るが、
- (7/19中口)アルトニウム保有5トン。国内保有93トン、莫口とフランスに30トン
- (7/19日経)韓国尹政権、原発新設へ
- (7/19日経)気候変動で「協力新」に示す特使、中口・王毅氏と会談

- (7/19日経)太陽光発電2割突進恐れ。土砂崩れを、陸域に16設備

- (7/20中口)高温ガス炉燃料開発へ。原子力機構、長研究所と共同
- (7/20中口)処理水「協議の場」を提案。政府、中国現時点不明
- (7/20日経)電力、法令順守点検に目。電事連、不正の、賢内閣で中間報告
- (7/20日経)伊予沖核燃料開発国内に行き場なく、フランスへ。回らぬサイクル。再利甲政策行中、詰まり
- (7/21中口)山口港の四季。アマモが成長を吸収。脱炭素、新政策として注目
- (7/21中口)原発処理水巡り日本に圧力。鮮魚検査、国内被害か。日系5社、中口税関留め回避
- (7/22日経)「原発処理水の放出設備視察。福島、県漁連幹部」放出反対の姿勢は変わりない
- (7/22中口)中口水産物検査に懸念。日本政府表明、説明要求を当局拒否
- (7/23中口)化石燃料の低減。20一政できず
- (7/23中口)香港でも検査を強化。日本の海産物、週間に遅れも
- (7/24中口)海洋放出へ停止指標設定。半徑3キロ以内、700ベクレル
- (7/24日経)気候対策企業より政府主導。化石燃料の使用を抑える力は政府にしかない
- (7/25中口)放出偽情報拡散防止へ適切対応
- (7/25日経)13兆円賠償巡り、西洲再航。東電株主訴訟。控訴審始まる
- (7/27中口)原発再稼働費を消費、者負担。経産省が制度検討へ
- (7/27中口)高次、再稼働条件付き、承認。立民、国田幹事長

東電の原発事故を巡る司法判断

	株主代表訴訟	強制起訴	住民訴訟
	一審判決 (2022年7月)	控訴審判決 (23年1月)	最高裁判決 (22年6月)
被告	旧経営陣5人	旧経営陣3人	国
予見可能性	長期評価には信頼性があり事故は予見できた	津波の現実的な可能性は認識できなかった	判断せず
結果回避可能性	浸水対策をすれば重大事態を避けられた可能性があった	原発停止の義務はなく、他の対策はなされたともいえない	対策しても事故が起きた
結論	4人に13兆円超の賠償命令 控訴審で審理	無罪 上告中	国の責任認めず 確定

●(7/29中口)高次、1号機再稼働。国内最古の原発。2011年2月に事故で停止。稼働は12年ぶり

2023 12.3 「こめよう」原発依存社会への暴走1万人集会 in 大阪

参加を! カンパを!

00990-4-334563

老朽原発のこめよう実行委員会

主催:老朽原発のこめよう実行委員会

- (6/23中口)島根原発工事完了延期、中電見直し11日
目、2号機は来年5月。
- (6/26朝日)有田新3区に出馬せず、次期衆院選。
- (6/28中口)中電指名停止相次ぐ、カルテル問題中国地へ
5県25市。
- (6/29中口)同南昭華はや動き、次期衆院選。
立憲民主党・平岡氏。
自民・中野氏
- (6/29中口)浜田・益田風
力発電所計画環境
評価、影響回避、要
派求め、県書正会
文部甲案。

山口新2区の各市町の
選挙人名簿登録者数

周南市	117,072
岩国市	108,969
下松市	47,003
光市	42,264
柳井市	26,102
周防大島町	12,927
田布施町	12,606
平生町	9,745
和木町	4,739
上関町	2,191
計	383,618

※6月1日現在



- (6/30中国)空軍機
24機飛来、岩口市は
抗議を、市民団体申
し入れ。
- (6/24中口)中電株主総
会、不祥事追完まの
ま、説明不足
不満噴出、新社長に
中川賢剛氏(仮)就任。
- (7/1日経)省エネ家電買い替之補助、福山市、先中など。
- (7/3中口)環瀬戸内海会議、撤回訴訟、瀬戸内法制定
50周年、木曾川、豊島ダシンプ、原発マシコン、アトなどから
湯沸水、海底にたまるプラスチックゴミで思いやり。
- (7/8中口)「上関原発計画見直し通せんない」中電の中川社
長が、7日上関町役場を訪れ、町長に就任のあ
いさつ。↓下に。
- (7/8中口)計画の撤回訴訟之街頭に立ち15年、田布施の
小中さん。↓下に。
- (7/13中口)県民葬、国葬費用の返還訴訟、県側請
求棄却求め、12日、山口地裁で1回口頭弁論。
- (7/13中口)「上関埋め立て延長許可はよけ法」住民
監査直請求を却下。
- (7/13中口)ある中電などに改善命令の方針、経営者
カルテル問題巡り
- (7/13中口)大手電力カルテルで中電、改善命令并明
書出さず。
- (7/15中口)海の豊かさ紹介、上関イベント、住民が
17日。
- (7/15中口)オスプレイ訓練高度緩和撤回を、田布施市
へ市民団体申請。
- (7/26中口)節電協力家庭に中電がポイント、1割増し
時間割。
- (7/27中口)再エネの出力制御7倍、中電の7/30日、
業者、収益に懸念。

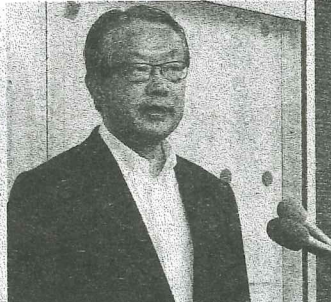
本の紹介
本と魚と激戦地

小出裕章さん
「南の島の穏やかな生活が、この日本という国によつて、
どのように破壊されたを知る好著です。」
「汚染水の先にくつて日本軍によつていたのつけられた人々が
いる。もうこんな事ははやめぬ。」(M)

靖国書店
清水三書堂
2700円+税

上関原発建設
「見通せない」

中電社長が町長と面会
中国電力の中川賢剛社長
が7日、上関町役場を訪れ、
西哲夫町長に就任のあいさ
つをした。同町で計画する
上関原発の建設については
「現時点で見通せない」と
しつつ、重要な場所との認
識を示し「地元の要望を受



報道陣の取材に
応じる中川社長

けとめ、今後も情報提供す
る」と伝えた。
非公開で面会后、報道陣
の取材に応じた。上関原発
の準備工事は2011年の
福島第1原発事故を受けて
中断しているものの、50年
のカーボンニュートラルの
実現に向け「原子力の開発
と再生可能エネルギーの利
用に最大限取り組む」と語
った。

建設予定地での海上ボ
ーリング調査を止めないよう
祝島の住民団体に求める訴
訟では「説明を尽くし一人
でも多く理解者を増やす」
と述べた。準備工事の中断
を受けて町から求められた
地域振興策については「検
討を進める」とし、カルテ
ルなどの不祥事をわびた。

計画の撤回訴訟
街頭に立ち15年

田布施の小中さん 7/8日



交差点に立ち、原発反対
を訴える小中さん

原発に反対する市民団体
代表の小中進さん(左)は田
布施町麻郷川が、中国電力
の上関町での原発建設計画
の撤回を街頭で訴え始めて
15年がたった。雨の日も風
の日も立ち続け、じわりと
思いが住民に届いていると
実感。「中止になるまでや
めない」と意気込む。

4760回目となった7
日朝も、平生町の国道18
8号の角浜北交差点でのぼ
りを持ってアピールした。

前日に散歩中の男性から
「あなたのおやっていること
は意義がある」と初めて声
をかけた。本土側で関
心を高めようと2008年
7月に始めた活動が無駄で
なかつたと感じた。
ロシアがウクライナ南部
の原発を占拠し、不測の事
態を危ぶむ見方が出る中、
「原発は戦争で狙われる対
象になり、国民の安全安心
を奪う」と指摘。「自分に
できることは限界がある
が、原発の問題点を地道に
伝える」と前を見据える。

(山本祐司)